



最高位の名誉賞！ 羽子田人工授精所

4月20日（金）に横浜市中央卸市場・食肉市場で第24回横浜食肉ミートフェアが開催され、名誉賞に仮宿上集落の羽子田人工授精所の出品牛（第1花桜）が選ばれました。

名誉賞は、選抜された黒毛和種152頭から厳選な審査の結果選ばれた和牛部門の最高位とされる賞です。

同人工授精所代表の羽子田幸一さんは、「前年のチャンピオン牛の1代祖『隆之国』も自社の種雄牛で、ある意味2連覇です。今年は、大崎生まれ、大崎育ちの牛で3連覇を狙いたい。また、今回の受賞が畜産農家の所得向上につながることを願っています。」と話されました。



▲受賞した数々の賞を囲む羽子田人工授精所の皆さん（左端が羽子田幸一さん）



絵本がつなぐ架け橋プロジェクト 絵本をインドネシアへ！

インドネシアと国際交流活動に取り組む大崎ものづくりネットワーク振興会は、5月23日（水）、町内の各家庭から回収した731冊の絵本を同国へ送りました。

振興会では、1月末から3月末にかけて町内の資源ごみの回収日に絵本専用のコンテナを設置し、住民へ協力を呼びかけました。

インドネシア出身で大崎ものづくり会館で働くプルナマワティさんは「インドネシアの子どもたちは、日本の絵本に大変興味を持っているが、高価で買うことができない。住民の皆様には感謝します。子どもたちの喜ぶ顔が楽しみです。」と話されました。



▲インドネシアに届ける絵本を箱詰めする大崎ものづくり会館のスタッフ



甘しょの植え付けで交流！ 大崎町青年農業倶楽部

5月18日（金）、町内の20代～30代の若い農家で構成する大崎町青年農業倶楽部（平成24年7月現在：部員18名）は、部員間交流を目的に甘しょ（コガネセンガン）の植付を行いました。

当日参加した10名は、140aの畑に互いの交流を深めながら苗の植え付けを行いました。

会長の富吉秀成さんは、「部員も経営はさまざま。相互交流で連携を深めることができた。また、今後は異業種間交流や子どもたちといっしょに農業体験を実施し、農業を通じて地域との交流を図っていききたい。この交流をきっかけに農業に少しでも興味を持ってもらいたい。新規部員も募集中です。」と話されました。



▲大崎の農業を盛り上げようと意気込む大崎町青年農業倶楽部のみなさん